

## 1 単元 わたしの つうがくろ

### 2 教科の目標

通学路で自分たちの安全を守ってくれている施設や人の存在に気付くことができる。(気付き)

### 3 ICT活用の観点

思考や理解を深める提示

### 4 活用したICT

電子黒板セット

### 5 ICT活用のポイント

プレゼンテーションソフトの作成画面で画像をドラッグして配置した画面と、別のスライドで電子黒板の書き込み機能でマークをつけた画面を、スライドを1枚目に戻すことで重ねることができる。電子ペンの操作は子どもに何度か操作させて、慣れさせておくが良い。

### 6 実践の様子

本実践では、二つの別々に操作した画面を一つに重ねることで「あっ！」と気付くことができる学習指導を目指した。そのために、プレゼンテーションソフトと、電子黒板の書き込み機能を用いた。最初に、スライドの1枚目に学区の上空からの写真を表示し、危険だと思われる場所を一つずつ確認していく。その危険だと思われる場所に「きけんくん」を配置させた。(資料①)

次に、スライドの2枚目で同じ写真を表示し、安全のための施設や人を見つけていく活動を行った。電子黒板の書き込み機能を用いて安全のための施設や人を「まもるちゃんの魔法」と名付けて○印を付けさせた。二つの操作画面を重ねるためにスライドを1枚目に戻すことで、電子黒板で書き込んだ○印が残り、最初に配置した「きけんくん」と重なったり、別々になった部分が明らかになったりした。

二つの画面を重ねた瞬間、子どもたちは「あっ!」「でた!」と驚きの声をあげていた。

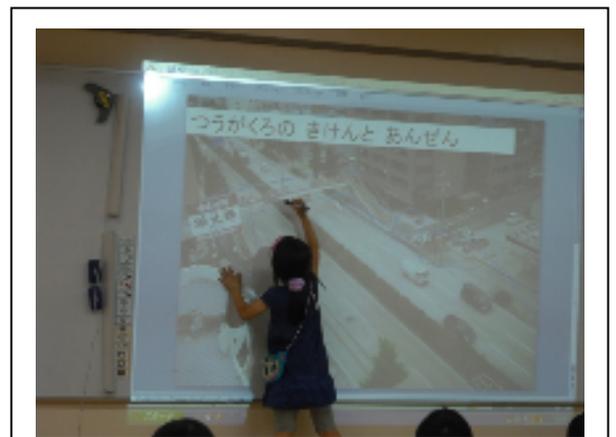
これにより、危険な場所の近くには安全のための施設や人が配置されていることに気付くことができた。また、「きけんくんだけが配置されている場所はどのように歩くといいのかな?」と質問をすると「自分が気をつけて歩かなきゃいけないと思う」という発言があがり、それぞれが「ああ、なるほど」と声があがったりして考えを深めていた。

### 7 成果と課題

- 並べて対比させるよりも、二つの画面を重ねることで容易に対比させることができた。その結果、気付きの質を高めた発言をさせることができた。
- 上空からの写真だったことから、自分の身の回りのこととして認知できていない子どもがいた。写真などの資料を吟味する必要があると感じた。



資料① ドラッグして「きけんくん」を配置



資料② 電子ペンで書き込む様子